

データ提供に関するアンケート(平成24年度)

平成24年度 総合目録ネットワークへのデータ提供に関するアンケート 結果

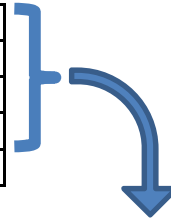
アンケート回収率

62/76 館	81.6%
---------	-------

2012年6月12日～7月6日実施

1 今後のシステム入替の予定について

平成24年度中	7館
平成25年度中	12館
平成26年度以降	15館
時期未定	1館
予定なし	20館



(のべ)

ID体系変更	4館
MARCタイプ変更	2館
DC-NDL(RDF)フォーマット切替	1館
共通フォーマット版変更	3館

ID体系変更の際は、全データの入れ替えが必要となります。
また、MARCタイプ変更、DC-NDL(RDF)フォーマットへの切替えおよび、
共通フォーマットの版変更が生じる場合は、
リプレース後の新システムから抽出された初回差分データを確認します。
上記のいずれかに該当する場合は、事前にご相談をお願いします。

2 図書館システム、MARC、横断検索システムについて

図書館システムのベンダー

NEC	21館
富士通	27館
NTTデータ	7館
日立製作所	5館
その他	2館

書誌詳細画面の直接表示

できる	34館
できない	25館
分からない	3館

データ提供に関するアンケート(平成24年度)

利用MARC	(のべ)
TRC-MARC	50 館
NS-MARC(日販)	12 館
JAPAN/MARC	16 館
NACSIS-CAT	4 館
その他	7 館

県域横断検索システムのベンダー	
NEC	7 館
富士通	14 館
NTTデータ	8 館
日立製作所	3 館
その他	6 館

OpenURL対応	
対応している	8 館
対応していない	26 館
分からない	1 館

3 データ提供方法・頻度について

“和図書”以外の条件指定	
指定している	17 館
していない	33 館

更新データ転送の自動化	
している	8 館
していない	41 館

更新データ転送の頻度	
毎日	2 館
毎週	18 館
隔週	4 館
毎月	20 館
年に数回	5 館

国立国会図書館サーチでは、OAI-PMH(メタデータを交換する標準的な仕組み)という
 人手を介さない自動的なデータ連携を今後、推奨していきます。

データ提供方式を従来のFTPやHTTP-GETからOAI-PMHへ切替えるため、
 システムリプレース等のタイミングで図書館システムへのOAI-PMH実装を
 ご検討いただければと思います。

データ提供に関するアンケート(平成24年度)

4 モデル館の希望について

希望する	18館
希望しない	30館



「OAI-PMHによるデータ提供」と「書誌詳細画面への遷移」両方	10館
OAI-PMHによるデータ提供のみ	3館
書誌詳細画面への遷移のみ	5館

「OAI-PMHによる国立国会図書館サーチへの書誌データの提供」および、「国立国会図書館サーチの書誌詳細画面から、各館OPAC書誌詳細画面への遷移」を先駆的に取り組むモデル館について、ご検討をありがとうございました。

今回手を挙げていただいた18館の中から、
福井県立図書館、大阪府立中央図書館、福岡県立図書館
の3館にモデル館をお引き受けいただくこととなりました。

5 担当者研修に希望する内容について

(のべ)

OAI-PMHの概要説明	30館
OAI-PMHの実装に関する詳細説明	23館
DC-NDL(RDF)の概要説明	34館
DC-NDL(RDF)での出力に関する詳細説明	19館
横断検索に関する説明	16館
その他(データ提供に関すること)	2館
その他(データ提供以外のこと)	2館
希望なし	2館

平成24年度は、「総合目録事業のデータ登録」、「WebAPI及びデータフォーマット(DC-NDL)の概要」及び「WebAPIの図書館システムへの実装」について、11月28日(東京本館)、12月20日(関西館)において研修会を実施しました。
http://iss.ndl.go.jp/somoku/?page_id=79

WebAPI : インターネットですられる、外部システムのプログラムから各種データベースシステムを検索させるための標準的な仕組み。国立国会図書館サーチには、検索のためのSRU/SRWやOpenURL、データ収集のためのOAI-PMH等のWebAPIが実装されている。

アンケートのご協力をありがとうございました。
いただいたご意見は、今後のゆいかなと運営に活用してまいります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。